

神病協発第78号  
平成28年4月25日

会 員 各 位

公益社団法人神奈川県病院協会  
会 長 新 江 良 一  
(公印省略)

**平成28年熊本地震に係る医療救護班の派遣について（続報4）**

このことについて、県健康危機管理課の依頼により「**④神奈川県医療救護班事前登録書**」をお送りいたします。

これは、4月22日にお送りした「**③神奈川県医療救護班事前登録書**」の一部修正版です。

また、第1班の活動報告書（2日目～5日目 ※1日目は移動等により無）が提供されましたので、情報共有させていただきます。お取扱いにはご注意ください。

お問い合わせ先

神奈川県病院協会事務局

担当 森田・町田

電話 045 (242) 7221

④神奈川県医療救護班 事前登録書

平成 28 年 月 日

医療機関名

担当者

電話番号

平成 28 年熊本地震に伴い、下記の者を派遣します。

代表者 (○印)	職種	氏名	携帯電話番号	連絡担当者 (○印)
			添付ファイルが受信できる メールアドレス	

○その他留意事項

- ・ 班編成は医師 1 名、看護師 2 名、薬剤師 1 名、業務調整員 1 名が基本ではありますが、それ以外でも構いません。人数は 5 名で編成してください。
- ・ この「事前登録書」と別添の「神奈川県医療救護班 派遣日程表」を提出し、派遣可能日程についてお知らせください。
- ・ 回答期限は設けておりません。日程調整がございましたら、その都度お送りください。
- ・ 不明な点は、神奈川県保健福祉局保健医療部健康危機管理課（045-210-4634）へご連絡ください。
- ・ 事前にお送りしている「エントリーシート」は暫定用紙ですので、この用紙をご使用ください。
- ・ 前後の班や神奈川県等とのやり取りのため、連絡担当者の携帯電話番号及び携帯メールアドレスは必ずご記載ください。

\*\*\* 送信先 県病院協会事務局 FAX 番号 045-231-1794 \*\*\*  
(派遣日程表と共にお送りください)

活動報告書

**活動：医療救護班第1班**

班員名（所属機関・職種）：

济生会横浜市南部病院 医師  
横浜市立大学附属病院 医師  
济生会横浜市南部病院 看護師  
济生会横浜市南部病院 臨床工学士

傷病者情報

4/21/2017（2日目）

避難者数（昼/夜）773/1273人【中央区 京稜中学校(160/260)、壺川小学校（160）、信愛女学院高等学校（63）、一新小学校（240）、慶徳小学校（150/550）】

新/再		性別		年齢		疾患別	
新患	1人	男性	1人	0～15歳	0人	呼吸器系	0人
再来	0人	女性	0人	15～60歳	0人	消化器系	0人
				61～75歳	1人	循環器系	0人
				76歳以上	0人	神経系	0人
						整形系	0人
						外科系	0人
						皮膚科	0人
						代謝系	1人
						精神科系	0人
						計	0人

## 1. 活動行程

宿舎発	07 : 30
北区役所着 (医療物資引き継ぎ)	08 : 20
市役所着、ミーティング	10 : 00
市役所発	10 : 30
京稜中学校	10 : 38
診察終了	11 : 30
壺川小学校	11 : 33
診察終了	12 : 05
信愛女学院高等学校	12 : 08
診察終了	12 : 30
一新小学校	12 : 55
診察終了	13 : 35
昼食	14 : 00
昼食終了	14 : 40
慶徳小学校	14 : 55
診察終了	15 : 30
市役所着	16 : 00
全体ミーティング	16 : 35
ミーティング終了	17 : 15
宿舎着	:

## 2. C : (指揮命令系統)

熊本市保健医療救護調整本部指揮下 (リーダー 熊本市立病院 医師)、中央区の壺川地区、一新地区、慶徳地区の現状の確認を担当。12 か所の避難所のうち 5 か所を巡回することができた。

## 3. S : (安全)

### 【自分】

靴は運動靴、服装はスクラブの上に南部病院の DMAT 用服装の上に神奈川医療救護班のベストを装着。必要な症例を診察するときはマスクと手袋を装着できるよう準備したが必要としなかった。

### 【場所】

京稜中学校 :

中学校の卒業生がボランティアで手伝っており、活気にあふれていた。避難所の組織図を作成し、スムーズに物事が行えるよう工夫していた。安全面に関しては特に問題なかった。トイレに関しては水道が通っており綺麗に管理されていた。4/21 までは少年鑑別所の医師が避難されて滞在しており、小児科医の奥さんと夫婦で診療してくれていたため特に診察希望なかった。

壺川小学校：

特に問題なし。トイレは水の力が弱く、1階は流れるが2階は流れない状態。うつ気味の患者が3名ほどいたが受診するほどではなかった。

信愛女学院高等学校：

綺麗で清潔な学校。避難者も60人と少なく、教室一部屋を一人で使っている人もいる。物資も潤沢、トイレも清潔であった。

一新小学校：

本館と新館に分かれており、本館は水道も使用できていて衛生面に問題はなかった。新館は廊下で寝ている人が多数存在した。一新を統括している人に聞くと、ペットと一緒に避難している人が、他の方と一緒にいることができず廊下で過ごしているとのこと。また新館はまだ水道を使用することができないためトイレなどの衛生面が非常に悪かった。また大勢の避難者がいた（多かった時は1400人ほど）ためなのか使用できる一人当たりの面積が他の避難所に比べて圧倒的に狭かった。

慶徳小学校：

消防団の方と市役所の方がそれぞれリーダーとなり、組織を形成しているため環境は整っていた。トイレも問題なし。ペットを飼っている人が教室で放し飼いしているなどの問題が残っているとのこと。

#### 【被災者】

京稜中学校：

昼はほとんどが外出しており昼の巡回時に残っている人は高齢者が多い。卒業した中学生や在校生が手伝っておりかなり活気にあふれていて明るい印象であった。

壺川（コセン）小学校：

上と同様で高齢者以外は幼稚園が低学年しか見なかった。中年層は避難所の管理者として働いている印象。管理者はその小学校の先生が担当していることが多い。

信愛女学院高等学校：

60名のうち中年層は不在のためほとんど避難者はおらず。4/22で避難所を閉めるとの話だったため避難者も増えなかった。避難所としては4/28まで延長となった。

一新小学校：

高齢者が多く、特に新館の廊下では床に直接寝ている人が多く見受けられた。声をかけると体調は大丈夫というが、水道が使用できず衛生面が悪いのと動物と一緒にいることが今後の感染症に影響するのではないかと不安が残った。

慶徳小学校：

高齢者が多かった。日中のためほとんど中年層はいなかった。

#### 4. C：(情報伝達)

情報伝達ツールとして各自の携帯電話を使用

#### 5. A：(評価)

M(Major incident or not)：Major incident

E(Exact location)：

T(Type)：地震

H(Hazard)：余震

A(Access)：渋滞がすぐに発生する。交差点が多いが信号がなく、右折することが難しい。

N(Number)：昼/夜

京稜中学校：160/260

壺川小学校：160

信愛女学院：63

一新小学校：240

慶徳小学校：150/550

#### E (Emergency Services)：

当チーム 医師：2名、看護師：1名

ロジスティック：1名

低血糖を訴えた患者がいたため血糖測定を行った。

6. T: (トリアージ)

周りの病院が開院していて受診済みの人が多かったため、医療を必要としている人はほとんどいなかった。

7. T: (治療)

なし

8. T: (搬送)

搬送患者はなし

9. その他、特記事項

【本日施行事項 (その他)】

中央区は病院が開院しており、医療救護班は必要がない印象。夕方のミーティングでも今行うこととしては避難者の数と医療ニーズ、医療チームを派遣しなくて良いとされる場所を決定していくこと。また明日から日本検査技師会のチームが到着するため車中泊をしている人の DVT の検索を行っていくとのこと。

活動報告書

**活動：医療救護班第1班**

班員名（所属機関・職種）：

济生会横浜市南部病院 医師  
横浜市立大学附属病院 医師  
济生会横浜市南部病院 看護師  
济生会横浜市南部病院 臨床工学士

傷病者情報

**4/23/2016（3日目）**

避難者数（昼/夜）1320/1660人【中央区 熊本大学附属小中学校(40/80)、二の丸駐車場（30台）、慶徳小学校（650）、西山中学校（300）、五福小学校（300/600）】

新/再		性別		年齢		疾患別	
新患	1人	男性	1人	0～15歳	1人	呼吸器系	0人
再来	0人	女性	0人	15～60歳	0人	消化器系	1人
				61～75歳	0人	循環器系	0人
				76歳以上	0人	神経系	0人
						整形系	0人
						外科系	0人
						皮膚科	0人
						代謝系	0人
						精神科系	0人
						計	1人



## 1. 活動行程

宿舎発	08 : 30
市役所着	09 : 30
ミーティング	10 : 00
市役所発	10 : 40
熊本大学附属小中学校	10 : 45
診察終了	10 : 55
地方裁判所	11 : 00
熊本中央高校	11 : 10
二の丸	11 : 40
西大手門	11 : 40
西山中学校	12 : 07
診察終了	12 : 40
慶徳小学校	12 : 55
診察終了	13 : 40
西消防署	13 : 50
昼食	14 : 10
昼食終了	14 : 25
五福小学校	14 : 30
診察終了	15 : 20
市役所着	15 : 40
全体ミーティング	16 : 35
ミーティング終了	17 : 15
宿舎着	:

## 2. C : (指揮命令系統)

熊本市保健医療救護調整本部指揮下 (リーダー 熊本市立病院 医師)、中央区の壺川地区、一新地区、慶徳地区の現状の確認を担当。12 か所の避難所のうち 10 か所を巡回することができた。

## 3. S : (安全)

### 【自分】

靴は運動靴、服装はスクラブの上に南部病院の DMAT 用服装の上に神奈川医療救護班のベストを装着。必要な症例を診察するときはマスクと手袋を装着できるよう準備した

が必要としなかった。

#### 【場所】

熊本大学附属小中学校：

環境は清潔であり、一人一人の占拠スペースは十分確保されている。トイレも清潔であった。

地方裁判所：避難所は閉鎖していた

熊本中央高校：避難所は閉鎖していた

二の丸：駐車場を無料開放している。夜になると 20-30 台駐車し泊まりにくる。駐車場は壊れていなく、安全は確保されている。

西大手門：門は崩落していて通行止になっていた

西山中学校：

避難者の数は多く 300 人ほど。衛生面は悪く、トイレが汚い。部屋にペットを飼っている人が最初からいて、他の人が移動をお願いしても移動してくれない。隣の避難者と口論が起きているなどの問題が上がっている。手指消毒を徹底させているが、非常に汚い。

慶徳小学校：

昨日、有傷病者が 8 人いたため、再度確認のために訪問。有傷病者は 2 人に減っていた。衛生面や安全面に関しては変わらず。

西消防署：避難所は閉鎖していた

五福公民館：避難所としては設定していないが、五福小学校とつながっているため、小学校から移動してきている。

五福小学校：

水道が使えず、生活用水も困っている状態。雨水の貯蓄担当があるためトイレの大は流せてはいるが、小に関しては水は使っていない状態。土足と靴を脱ぐ場所の区別はついておらず寝床まで土足になっている。感染患者の隔離対策をとっておらずフローアールと一緒にいる。

【被災者】

熊本大学附属小中学校：

清潔感もあり、数も少なく余裕がある状態

地方裁判所：なし

熊本中央高校：なし

二の丸：なし

西大手門：なし

西山中学校：

幼児から高齢者までかなりの数の人が存在している。まだ風呂も入れておらず衛生面に問題がある状態。

慶徳小学校：

幼児から高齢者まで存在している。まだ 600 人ほどいるため、スタッフが疲弊している感じがする。

西消防署：なし

五福公民館：なし

五福小学校：

高齢者が多い。感染患者の隔離もしておらず、水道がまだ使用できず感染症が懸念される。

4. C：(情報伝達)

情報伝達ツールとして各自の携帯電話を使用

5. A：(評価)

M(Major incident or not) : Major incident

E(Exact location) :

T(Type) : 地震

H(Hazard) : 余震

A(Access) : 土曜日は平日よりも車の数が減っていた

N (Number) : 昼/夜

熊本大学附属小中学校：40/80

地方裁判所：0

熊本中央高校：0

二の丸：30

西大手門：0

西山中学校：300

慶徳小学校：650

西消防署：0

五福公民館：0

五福小学校：300/600

#### E (Emergency Services) :

当チーム 医師：2名、看護師：1名

ロジスティック：1名

2歳の子がぐったりしていたため、診察。急性胃腸炎の診断で食事も取れてないため小児科受診を勧めた。

#### 6. T：(トリアージ)

が回診を行っている間に、避難所のアセスメントシートを で作成。作成後、 も回診に参加。

#### 7. T：(治療)

なし

#### 8. T：(搬送)

搬送患者はなし

#### 9. その他、特記事項

##### 【本日施行事項 (その他)】

本日は熊本市民病院の外来看護師さんが一緒に同乗して活動した。地元の人と一緒にいると地理的な問題が無くなり非常に助かった。

活動報告書

**活動：医療救護班第1班**

班員名（所属機関・職種）：

济生会横浜市南部病院 医師  
横浜市立大学附属病院 医師  
济生会横浜市南部病院 看護師  
济生会横浜市南部病院 臨床工学士

傷病者情報

**4/24/2016（4日目）**

避難者数（昼/夜）310/324人【中央区 国際交流会館（20/34）、古城道端公園（40）、壺川小学校（100）、渡鹿公園（100）、西山中学校（50）】

新/再		性別		年 齡		疾患別	
新患	1人	男性	1人	0～15歳	0人	呼吸器系	0人
再来	0人	女性	0人	15～60歳	1人	消化器系	1人
				61～75歳	0人	循環器系	0人
				76歳以上	0人	神経系	0人
						整形系	0人
						外科系	0人
						皮膚科	0人
						代謝系	0人
						精神科系	0人
						計	1人

## 1. 活動行程

宿舎発	08 : 30
市役所着	09 : 30
ミーティング	10 : 00
市役所発	10 : 40
国際交流会館	10 : 50
診察終了	11 : 05
古城道端公園	11 : 10
壺川小学校	11 : 20
診察終了	11 : 50
渡鹿公園	12 : 10
観察終了	12 : 40
昼食	13 : 10
昼食終了	14 : 00
西山中学校	14 : 30
診察終了	15 : 25
市役所着	15 : 40
全体ミーティング	16 : 30
ミーティング終了	17 : 00
宿舎着	18 : 20

## 2. C : (指揮命令系統)

熊本市保健医療救護調整本部指揮下（リーダー 熊本市立病院 医師）、中央区の壺川地区、一新地区、慶徳地区の現状の確認を担当。12か所の避難所のうちこの2日間で回っていない場所と他の地域の回れていない避難所5か所を巡回すること。

## 3. S : (安全)

### 【自分】

靴は運動靴、服装はスクラブの上に南部病院のDMAT用服装の上に神奈川医療救護班のベストを装着。感染症がきになるフェーズに入ってきたためマスクは常備して巡回を行った。

### 【場所】

#### 国際交流会館 :

外国の人がメインで使用している。かなり綺麗な場所。座布団を敷き布団代わりに使ったり和室があったりと環境がとても良い。

古城道端公園：

避難所指定ではなく、自分たちで開いた駐車場。トイレは公衆便所。車中泊のため、管理人やリーダーは不在。日中は車の中に人はおらず動いている人たちが使用している。雨のため地面がぬかるんでいる。

壺川小学校：

避難者が減ったせいもあってか、かなり環境が整い、清潔感が整った印象。

渡鹿公園：

防災公園であり防災倉庫もあるため、最初はかなりの数の車が車中泊をしていた。災害テントは現在終了している。仮設トイレも公衆トイレに水が流れたため使用終了。雨のため公園のグラウンドはぬかるんでいる。

西山中学校：

昨日気になった場所を再度巡回。避難者が 50 人とかなり減り、環境面も改善。簡易トイレを勧めるも、その汚物処理を誰がするのかと問題指摘。人数が少なくなってきたため昼の配給もなくし自立を図っていくとのこと。

#### 【被災者】

国際交流会館：

外国人が多いが、健康面などは問題なし。何かあった場合は松本病院と熊本大学医療センターがサポートに入ることとなっているとのこと。

古城道端公園：

テントにリーダーらしき人がいて聴取。ここの駐車所を使用している人は昼はどこかに行けるような元気な人が多い。医療ニーズはなし。独自で立ち上げた避難公園だが自衛隊なども気にかけてくれていて物資は過剰でもう間に合っているとのこと。

壺川小学校：

特に問題なし。

渡鹿公園：

日中の公園にからの車が 30 台ほど止まっているが、避難者は確認できず。

西山中学校：

昨日から本日にかけて劇的に人数が減っており、明日都市ガスが通るから自宅に帰ると言っている人もいます。高齢者もさほど多くなく、問題なし。

#### 4. C : (情報伝達)

情報伝達ツールとして各自の携帯電話を使用

#### 5. A : (評価)

M(Major incident or not) : Major incident

E(Exact location) :

T(Type) : 地震

H(Hazard) : 余震

A(Access) : 日曜日は平日よりも車の数が減っていた

N (Number) : 昼/夜

国際交流会館 : 20/34

古城道端公園 : 40

壺川小学校 : 100

渡鹿公園 : 100

西山中学校 : 50

E (Emergency Services) :

当チーム 医師 : 2名、看護師 : 1名

ロジスティック : 1名

50代女性、胃腸炎で診察あり

#### 6. T : (トリアージ)

が回診を行っている間に、避難所のアセスメントシートをで作成。作成後、も回診に参加。

#### 7. T : (治療)

なし

#### 8. T : (搬送)

搬送患者はなし

#### 9. その他、特記事項

【本日施行事項 (その他)】

たった1日で避難所の雰囲気が変わったことがわかった。避難者の数が少なくなったということと水道が使えるようになったということが関与していると考えられた。



活動報告書

**活動：医療救護班第1班**

班員名（所属機関・職種）：

济生会横浜市南部病院 医師  
横浜市立大学附属病院 医師  
济生会横浜市南部病院 看護師  
济生会横浜市南部病院 臨床工学士

傷病者情報

**4/25/2016（5日目）**

避難者数（昼/夜）400/584人【中央区 一新小学校（322）、西山中学校（48/200）、信愛女学院高等学校（30/62）】

新/再		性別		年 齡		疾患別	
新患	0人	男性	0人	0～15歳	0人	呼吸器系	0人
再来	0人	女性	0人	15～60歳	0人	消化器系	0人
				61～75歳	0人	循環器系	0人
				76歳以上	0人	神経系	0人
						整形系	0人
						外科系	0人
						皮膚科	0人
						代謝系	0人
						精神科系	0人
						計	0人

## 1. 活動行程

宿舎発	08 : 30
市役所着	09 : 40
ミーティング	10 : 00
市役所発	10 : 10
一新小学校	10 : 25
診察終了	11 : 10
西山中学校	11 : 15
診察終了	11 : 35
信愛女学院高等学校	11 : 55
診察終了	12 : 20
ホテルにて後続隊と合流	13 : 15
引き継ぎ終了	13 : 30
市役所着	14 : 10
ミーティング終了	14 : 30
熊本空港到着	16 : 00

## 2. C : (指揮命令系統)

熊本市保健医療救護調整本部指揮下（リーダー 熊本市立病院 医師）、中央区の壺川地区、一新地区、慶徳地区の現状の確認を担当。インフルエンザが出た一新小学校の状況と間隔が空いている信愛女学院高等学校の巡回指示。

## 3. S : (安全)

### 【自分】

靴は運動靴、服装はスクラブの上に南部病院の DMAT 用服装の上に神奈川医療救護班のベストを装着。感染症がきになるフェーズに入ってきたためマスクは常備して巡回を行った。アルコール消毒を各自腰につけて巡回。

### 【場所】

一新小学校 :

新館は土足禁止になっており、環境面としては改善していた。避難者数は変わらず 300 人以上であった。下水道が通り、給水車も来ている。新館にはまだ犬がいた。

西山中学校 :

昨日と変わらず人数が減ったため各個人で使えるスペースは確保されている。中学生が

掃除を手伝い、トイレなどの環境も改善。

信愛女学院高等学校：

新規避難者の受け入れはしておらず、4/28 10:00 で閉鎖が決まっている。環境面に関しては清潔が保たれていて問題なし。

【被災者】

一新小学校：

インフルエンザの患者は3回の1つの教室に夫婦二人で隔離。同症状を呈した人たちは外出していて確認できず。新町いえむらクリニックの看護師が巡回しており、症状がある人たちはクリニック受診できるようになっていた。

西山中学校：

ノロウイルスによる感染性腸炎の患者が発生。隔離部屋も作れている。感染対策委員も作り対応している。

信愛女学院高等学校：

昼はほとんど避難所にいない。問題なし。

4. C：(情報伝達)

情報伝達ツールとして各自の携帯電話を使用

5. A：(評価)

M(Major incident or not)：Major incident

E(Exact location)：

T(Type)：地震

H(Hazard)：余震

A(Access)：平日は車の数が増え、いろいろな場所で渋滞

N (Number)：昼/夜

一新小学校：322

西山中学校：48/200

信愛女学院高等学校：30/62

E (Emergency Services)：

当チーム 医師：2名、看護師：1名

ロジスティック：1名

6. T：(トリアージ)

が回診を行っている間に、避難所のアセスメントシートを で作成。作成後、 も回診に参加。

7. T：(治療)

なし

8. T：(搬送)

搬送患者はなし

9. その他、特記事項

【本日施行事項 (その他)】

感染患者が増えており、隔離や感染管理が重要になると感じられた。それぞれの避難所で感染対策を取っているところが多く見受けられた。